



ようらん
揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

☆10月5日 コミュニケーションの達人になろうよ!

中条校では、生徒たちが日常の何気ない場面で思いやりの気持ちを忘れず、社会の中で自分の個性を生かしながら人と共生する力を育てるためソーシャルスキルトレーニング(SST)を大切な学びの場としています。



☆1年 家庭総合 エプロン製作

秋恒例の1年生の被服実習が始まりました。来年の調理実習で使うエプロンを自分で作っています。慣れた手つきの人、おぼつかない手つきの人さまざまですが、みんなで助け合いながら進めます。仕上がりが楽しみです。



★マスクに消毒、サーマルカメラによる検温が当たり前の登校風景となっています。

☆10月12日

1年生がサツマイモの収穫をしました。今年は土づくりにこだわり、立派なイモがごろごろとあふれ出てきました。



☆10月16日 第53回強歩大会

秋の伝統行事です。男子はアルプス展望広場までの25km、女子は小川村役場までの16kmキロのコースです。高低差は400メートルほどの難コースに今年も挑戦しました。男子優勝は3年の太田晃嘉さん(2:21:02) 女子は2年の竹内媛香さん(1:15:29)です。女子はコースレコードを28秒更新の新記録です。男子最速はH24年度の1:47:48というとんでもない大記録です。

小川アルプスライン
Ogawa Alps Line
成就展望所(標高622m)



【生徒の感想】・去年は台風で中止だったので、初めてのコースでペース配分が難しかった。・天気が良くて周りが秋で気持ちよく歩けました。・コロナで行事ができなかったけどやっと中条校らしいことができてよかった。・25キロとは聞いていたが実際走ると恐ろしく大変だった。地図や頭でわかっていることと実際は違うことがある。・坂道がどんどん目の前に出てきてしんどかった「獣の呼吸」になっていく感じだった。展望広場は眺めがいいらしい、全く見る余裕がなかった。励ましあって歩いてうれしかった。